

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成28年度 第1回地域計画策定部会
開催日時	平成28年11月29日（火） 午後7時00分～午後9時15分
開催場所	市役所西館 はつらつセンター
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 分科会委員長の選任について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 計画策定に対する取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回協議会意見の振り返り【資料1】 ・ 策定に向けた取組み内容協議 <p>3 連絡事項</p> <p>4 閉会</p>
委員出席者	滝川 健一・今泉 亮司・竹下 隆康・加藤 重行 杉下 尚由・仲井敬太郎・鈴木 誠 ・河邊 続子 山本 紀子
欠 席 者	1 人 老平 千昌
事 務 局	田村千郷自治振興事務所長・川合主事・森田主事
会議資料	【資料1】策定に向けた取組み内容 まとめ一覧

1 開会

会議成立の報告

9名の委員出席により会議成立

2 議事

(1) 分科会委員長の選任について

出席委員の互選により、加藤重行委員を分科会委員長に選任した。

(2) 計画策定に対する取組みについて

【資料1】 前回地域協議会での意見を振り返りながら協議を行った。

－主な意見－

■策定期間

(委員)

現状との乖離を少なくするためにも1年でつくる必要があるのではないか。

(事務局)

地域協議会で策定するのか又は専門委員会で策定する方法もあり、策定体制によって違いがあります。次回、スケジュール案を提示したい。

■策定体制

(委員)

素人の集まりで考えていてもまとめ上げるのに不安なので専門的なサポートが必要である。

(委員)

計画を策定していくためには継続性を持った組織体制とした方が良い。

(委員)

地域自治区予算や地域活動交付金などもあるので、来年度も分科会方式を採用し、全体会へ諮っていく方式が良い。

(委員)

必要に応じて専門家を会議に参加を求めることは良いか。

(事務局)

各分野の市担当課の職員を呼ぶことも可能です。また、地域活動支援員を派遣することも可能です。

■策定方法

(委員)

地域現状を正しく把握することが大切である。その手段としてアンケートなどがあるが、表面的なことに解決するのではなく、魚の骨などの手法を使って本質を探り、対策する必要がある。

(委員)

アンケートの場合は偏りが内容に注意すべきである。立場によって問題点が違うので、それぞれの世代からの意見を聞く必要がある。

(委員)

市で実施した過去のアンケートを参考に設問を考える。また、アンケート実施前に目的を住民に認知する必要がある。

(事務局)

ある程度、今年度中にアンケートに関して調査し、次年度、コンサルタントに相談しながら決めるという方法もあります。頂いた意見を基に今までのアンケート事例を探して次回、皆さんに提示したい。

(委員)

各活動団体を交えた意見交換会を実施するのも良い。

【住民参加】

(委員)

計画を策定していく上で住民の皆さんにPR・認知していく必要がある。回覧板を配布しているが見ない人が多い。

3 連絡事項

第2回 地域計画策定部会

日時：平成28年12月13日（火）午後7：00

場所：はつらつセンター

内容：策定期間・策定体制・取組み内容

4 閉会